

ももぐみだより

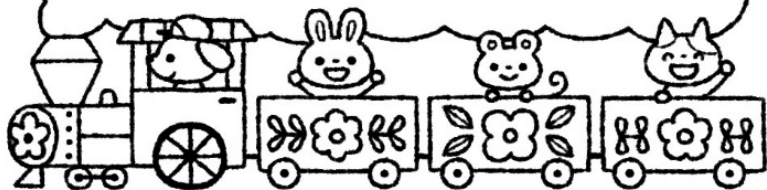
2月号

2020年2月発行
社会福祉法人尚徳福祉会
おぐら保育園

だんだんと寒さ厳しくなってきました。2月は空気が、一年でいちばん冷たい月です。寒さに負けず、子どもたちは外でもお部屋の中でも元気いっぱい楽しんでいます。最近では、外では追いかっこやポックリを、室内ではレゴで建物や乗り物を作るなど、保育者を頼らずとも、友だち同士で声を掛け合って遊ぶ姿が増えてきました。春からは憧れの幼児クラスです。進級に向けて少しずつ準備を進めていきたいと思います。

手作り凧を作りました！

1月に入り、お正月あそびで、凧を自分たちで作りました。ビニール袋にスズランテープをつけ、シールで装飾した自分だけの凧を園庭で思いっきり走りながら、飛ばしました。凧が浮かぶ様子をみんなで楽しみました。園庭に出るたびに、「凧上げしたい！」と子どもたちから声上がるほど気に入ったようです。



節分



鬼のお面を制作しました。お正月の雰囲気が終わりを始めた頃から、絵本の読み聞かせやぬりえなどで、“鬼”と触れる機会を増やしました。そこから鬼のイメージを膨らませて、楽しみながら形にしています。できたお面はクラスで飾り、節分の会で、自分たちで身に付けて、節分の雰囲気を楽しもうと思います。



感 染 予 防

胃腸炎、インフルエンザ、風邪などの感染症の流行が心配な季節になってきました。

「風邪バイキンをやっつけようね」と伝え、手洗い・うがい（ガラガラうがい）を外から戻ってきた時に行っています。

まだ、ガラガラうがいに慣れていない

子は、友だちの様子を見てがんばって練習しています。



クラスの様子

4月から幼児クラスになるもも組さん。毎日、少しずつ、がんばってきた成果が出始めています。着替え、トイレ、食事など身の回りの事を自分たちでできるようになってきています。遊びの中では、友だちを誘い、いっしょに遊ぶようになり、より関りが広がったり、仲が深まってきています。

